



紺

教育目標「気概にあふれ主体的に考え行動する生徒」

～小さな学校の大きな誇り～

花巻市立湯口中学校

校報 N o 3 3

令和7年10月30日

文責：校長（菊池）

## 若杉祭大成功 生徒のふり返り

### 「初めての文化祭を通して」

1年A組 佐々木愛莉

初めての文化祭では、練習の成果を発揮して楽しい文化祭にすることができました。そして、学びの多い文化祭取組期間でした。私が印象に残っているのは、2つあります。

1つ目は、シンガクです。3年生と一緒に踊るシンガクは文化祭が最後でした。みんなで細かいところまで、みんなで確認してより良い舞を踊れるようにしてきました。練習の時に見ていた三人踊りは、みんなできれいに踊ろうとして真剣に踊っている姿を見ました。すごくきれいに踊っている姿から、取り組む姿勢や感謝の気持ちの伝え方を学びました。そして、1学年シンガクリーダーとして分からぬところはあったけど、周りの友達や先輩達に助けられてもらったおかげで、より良い舞を披露することができました。

2つ目は、3年生の劇です。一人一人の役を自分たちならではに演じているところや堂々と演じているのがすごいと思いました。そして、一人一人が堂々と演じているからすごく楽しく見られたし、3年生も楽しいでいるように見えました。3年生の劇を見て、堂々と演じている方が自分も楽しいし、見ている人も楽しいと思ってもらえる作品になることを学びました。

初めての文化祭を通して、周りの人に支えてもらったおかげで楽しいものになったことと、全力で取り組んだ分だけより良い作品になって、自分含みで楽しめることを知りました。なので、私も何事にも全力で取り組んで最高な作品を作れるようにしたいです。そして、感謝の気持ちを忘れずに生活ていきたいです。

### 「若杉祭」

2年A組 久保田泰心

今日は若杉祭がありました。若杉祭では今までやってきたことをしっかりと発揮することができたと思います。特に私が頑張ったことは4つあります。

1つ目は、神楽です。神楽の全体練習では、1年生に細かい部分を分かりやすく丁寧に教えることを意識することができました。神楽のリハーサルでは、本番をしっかりと想定して真剣に行うことができました。本番では、習ったことを意識して踊ることができたので良かったです。来年は、学級全員が三人踊りなので、今の3年生のような見ていてかっこいいと思えるような踊りができるように頑張りたいです。

2つ目は、総合発表です。総合発表の練習では、班の人たちとどうやったらうまく伝わるか考え、聞いてくれている人たちにしっかりと伝わるような発表を心がけて練習しました。本番では、マイクは使ったけど、聞いている人に伝えるということがしっかりできていたと思います。みんなで言う部分は、誰かが言うのを待たず、みんな一人一人が自分からという主体性がとても見えた場面だったと思うので、こういう良い部分をしっかりと続けていって、今直さないといけないところは直して来年はより良い若杉祭にしたいです。

3つ目は、学級合唱です。練習では、全員が声が出ているわけではなく、何人かの人に頼ってしまっているという状況でしたが、どんどん練習を重ねていくうちに、みんな自分の歌声に自信を持つことができ、最終的には本番で全員の歌声が聞こえるようになり、とても良い発表になってうれしかったです。

4つ目は、全校合唱です。練習では各パートリーダーがどうやったら良くなるのかを明確にしてうまく進めてくれました。全校で歌う時は、奏さんがや知絵さんが改善すべきことを教えてくれたおかげで、自分も思いきって歌うことができたし、後ろの方から聞こえる3年生の声量がすごく迫力があり、全校の人たちみんながとても歌いやすかったと思います。

来年は、自分たちが学校のリーダーになります。自分たちが今の3年生たちのようにできるかは不安ですが、「今年より良い若杉祭にする」を自分の目標にして主体性を意識して行動して、来年頑張っていきたいと思います。

### 「最後の若杉祭を終えて」

3年A組 宮川芽久

今年の若杉祭では「共創～自分らしさを表現しよう」というテーマで取り組んできました。また、今回の若杉祭は私にとって最後の若杉祭で、合唱も総合発表も全員で力を合わせて成功させることができたのでよかったです。

総合発表では、5月に体験したHUGを劇にしました。この劇の目標の「全員参加・全員本気・全員成長」「楽しむ努力を惜しまない」も達成できたと思います。また、劇を行う上で「恥は教室に置いて全力でやる」の約束も守ることができました。はじめの練習では声も小さく、身ぶり手ぶりが少なかったけど、時を重ねるほど、先生に言われる前に一人一人が「こうしたほうがもっとくなるよ」など、劇を全員でつくりあげていき、本番の発表では今までやってきた練習の劇よりも最高の劇を発表することができました。

吹奏楽部の発表では、3年生最後の演奏で全員の思いが伝わってきて感動しました。

最後の合唱では、今まで行ってきた練習の成果を出し切れたと思います。一番最初に歌った「春愁」では、歌詞の意味を考えながら歌うことができました。どの練習のときよりもすべてのパートが大きな声で歌えたと思います。学年合唱の「手紙」は15歳の自分に対し未来の自分が背中をおすような言葉が入っています。この手紙という歌は今の自分たちにしか歌えないメッセージが込められており、34人すべてのみんなが心をそろえ、観客の人にそのメッセージを伝えることができたと思います。

最後の若杉祭を通して、自分らしさを表現できたと思うし、一人一人が参加し、この若杉祭をつくりあげることができたのでよかったです。

みなさん若杉祭お疲れ様でした。土曜日は全校が一丸となって若杉祭の成功に向けて一生懸命取り組むことができたと思います。今年は「共創」というスローガンのもと仲間と共に協力し、創意工夫しながら準備に取り組むことができました。本番では、一人一人がサブスローガンである「自分らしさを表現しよう」を達成することができたと思います。全校で挑戦し、楽しく終えることができた若杉祭にすることができてよかったです。

また、シンガクでは、今まで地域の方にお世話になったことへの感謝の気持ちを込め、一人一人が美しく統一感のある演舞を披露することができました。若杉祭で3年生は最後になりましたが、これからは1・2年生が湯口中の三大ブランドであるシンガクを受け継いでいってください。

【生徒長会 高橋知絵】